

調 査 報 告 書

多治見市長 古川 雅典 様

一般社団法人
岐阜県ペストコントロール協会
会長 故金 正司
岐阜市則武中1丁目19番地30号
〒502-0932 TEL:058-296-3739

事業名 コバエ調査業務委託
業務番号 多環委 第11号
調査場所 多治見市一円
履行期間 平成27年5月12日より平成27年10月31日

本年度、実施したコバエ調査の結果を以下の通り報告いたします。

1. 調査日程

実施日 実施内容

- 5/19 コバエ調査前市民説明会（今年度の調査計画について）
参加者：①市之倉公民館 16:00～17:30 24名
②多治見市役所 19:00～20:30 9名
- 6/13 コバエ調査対策施工（モニター宅4軒への調査趣旨・方法の説明及び調査器具設置）
（温度湿度計、風向計、風よけタープ、隙間テープ、捕虫紙の取付、記録の依頼）
- 6/29 コバエ調査対策施工（モニター宅1軒への調査趣旨・方法の説明及び調査器具設置）
（温度湿度計、風向計、風よけタープ、隙間テープ、捕虫紙の取付、記録の依頼）
- 7/11 モニター宅中間聞き取り調査（設置器具の調整・補修と中間データの回収）
- 7/27 モニター宅中間聞き取り調査、滝呂町1軒（設置器具の調整・補修）
- 8/5 モニタリング記録紙及び捕虫紙の回収（モニター宅4軒分）
- 8/18 モニタリング記録紙及び捕虫紙の回収（滝呂町モニター宅1軒分）
- 9/11 コバエ調査後市民報告会（最終報告会、9月に向けての対策提案）
参加者：①市之倉公民館 16:00～17:30 12名
②バロー文化ホール 19:00～20:30 15名

2. 調査目標

- ① 家屋への飛来状況を観察
- ② 侵入防除対策の効果の観察と立案
- ③ 室内での捕虫対策効果の観察と立案

3. 調査項目（気象、家屋への侵入対策、及び効果判定）

① 調査項目

天 候：モニターによる記録

温 度 湿 度：温度湿度計を設置し、モニターによる記録

風 向 き：簡易風向計を設置し、モニターによる記録

飛来の時間帯：モニターによる記録

家屋への侵入量：モニターによる体感記録、捕虫紙で捕虫数をカウントし調査

② 室内への侵入阻止対策

風よけタープの設置（屋外対策）

隙間スポンジ・テープの施工（窓際対策）

捕虫用粘着シートの設置（室内対策）

③ 効果の判定

風よけタープの効果判定

隙間スポンジ・テープの効果判定

捕虫用粘着シートの効果判定

④ 調査期間

① 4軒 6月22日～8月2日、② 1軒 6月30日～8月10日)

4. モニタリング調査地点

① 大畑町大洞3、1軒

② 脇之島町7、1軒

③ 市之倉町9、1軒

④ 市之倉町13、1軒

⑤ 滝呂町9、1軒

合計5軒

5. 実施内容 コバエ飛来時の気象条件と時間帯、及び家屋への侵入阻止対策の効果の検証

(1) 気象条件調査（調査期間:①4軒6月22日～8月2日、②1軒6月30日～8月10日）

① 天候、温度、湿度、風向き調査結果

- ・ 6月26日～7月9日までは曇・雨の日が続き、その後、晴の日が連続した。
- ・ 6月26日～7月9日までは低温・高湿度で推移。その後、高温・高湿度。
- ・ 7月16日～7月24日まで曇・雨の日が多く、その後晴れた。（発生パターンの2回目）。
- ・ 曇・雨の天候時は比較的低温・高湿度であった。以後は晴れて高温・高湿度で推移。
- ・ 風向きは基本的に南風。多治見市内、土岐川より南部では谷筋の関係から西風が主となる。
- ・ 無風状態の時は飛来が無く、西風が主になると飛来して来る。
- ・ 家屋への飛来時間は6時より12時まで。

② 気象条件と飛来の関係調査結果

- ・ 7月1日～7月9日の期間、温湿度20℃-80%、無風で、概ねコバエの飛来は無かった。
- ・ 7月10日～7月15日、温湿度30℃-80%、西風が主になり、コバエの飛来を観測。
- ・ 曇や雨の比較的低温・高湿度の日の後、晴れて高温高湿度に転じると、西風により飛来する。

(2) 家屋へのコバエ侵入対策の実施と検証結果

① 風よけタープの効果

- ・ タープの設置場所と維持管理が良好なら効果がある。
- ・ 台風の影響等で設置状態が悪くなると効果が薄れる。
- ・ 実験に黒色の農業用シートを使用したけど、黒色によりコバエの寄り付きが少なくなった。

② 隙間スポンジ・テープ対策による室内侵入阻止効果

- ・ 比較的コバエ飛来数の多い場所では、テープと窓枠の隙間に完璧に近い気密性が要求される。
- ・ スライドする窓と窓のすれ違う部分にも隙間を埋める対策が必要である。
- ・ 対策と施工状態が適切ならコバエの侵入阻止効果は充分認められる。

③ 室内における捕虫用粘着シートでのコバエ捕獲効果

- ・ 1週間で190匹以上捕獲出来たモニター宅があり、効果を認めておられた。
- ・ 粘着シートには臭い等の誘引効果はないので、設置場所が不適切だと効果が薄い場合もある。
- ・ 窓枠対策の効果が高いとコバエの侵入量自体少なくなり、粘着シートによる捕獲数が減る。

6. 本年度のコバエ調査のまとめ

(1) 侵入阻止対策効果判定

判定

① 風よけタープ

◎

モニター5軒中、3軒で高評価があった。他の2軒では元々飛来が少なかった。

② 隙間スポンジ・テープ

◎

窓サッシのレール部分屋外寄り、コバエが止まっているので効果が認められた。隙間をしっかりと埋めることが必要。(バックアップ材、ティッシュ等が有効)。

③ 室内に設置した捕虫用粘着シート

◎

5軒中2軒のモニター宅で高評価。残り3軒では侵入自体が少なかったとのこと。臭いや色での誘引機能は無いので設置場所、扇風機など補助具との併用を推薦。

(2) 本年度のコバエ飛来の特徴

- ・今年、平成27年は昨年と比較し、コバエの飛来が少なかった。
- ・特に多かったのは7月15日前後。
- ・多湿の日が続いた後、高温の日が来るとコバエの飛来数が多くなる傾向があった。
- ・無風より風がある日の方がコバエの飛来が多かった。
- ・飛来する時間帯は(AM)5:00~10:00くらい。遅くても(AM)12:00には概ね終わった。(14時過ぎまで侵入を感じた人もいた)。

(3) 本年度のコバエ侵入対策の立案

- ・家屋に接近したコバエが直接窓に当たらぬよう「風よけタープ」を設置する。
- ・窓枠からの侵入を防ぐため「隙間スポンジ・テープ」を設置する。
- ・室内に入ってしまったコバエを「捕虫用粘着シート」で捕獲する。

7. その他、情報の収集

① 全国的発生状況

平成19年

静岡県熱海市で大量発生。

平成22年、23年

愛知県豊橋市、広島県広島市で大量発生(被害により給食センターが閉鎖)。

平成23年

愛知県岡崎市、京都府宇治市、京都市内で大量発生。

平成23、24、25年

岐阜県多治見市、御嵩町、富加町、川辺町、八百津町、愛知県豊田市

(被害により一部給食センターが閉鎖)。

平成26年

京都府京都市、宇治市、南丹市、広島県広島市、岡山県岡山市で大量発生。

② 岐阜県下での発生状況

平成23、24、25年

岐阜県多治見市、可児市、美濃加茂市、御嵩町、富加町、川辺町、八百津町で大量発生。

平成26、27年の傾向

川辺町、富加町北部、関市、山県市の山際の地域で大量発生。